

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	塚山公園		
所在地	横須賀市西逸見町・山中町・長浦町		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukayama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和32年3月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会・県立塚山公園保存会グループ		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>	
<p>利用状況がC評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったため、3項目評価はB評価となった。</p> <p>利用状況は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴うイベント休止や外出自粛のため、目標を達成できなかったが、利用者の満足度は、年間を通して園内を快適に利用出来る環境を提供したことにより、極めて良好で、また、収支状況についても、計画内の支出で公園を運営していて、良好であった。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、山野草や花木を保全する維持管理や里山の魅力を活かしたイベントの実施、ボランティアと連携した公園管理等を継続するとともに、更なる利用者の拡大のため、公園情報の発信等の広報活動への取組みが望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 塚山公園では、里山の魅力と歴史を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組を行いながら管理運営にあたっている。</p> <p>維持管理に関しては、サクラの樹勢回復のため樹木医による診断やテングス病の対策を行い、また園内の枯れ木等の伐採を行ったほか、清潔な空間確保に向け、こまめな清掃や計画的な定期清掃を実施している。</p> <p>利用促進に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が相次いだり、公園利用のニーズは高く、桜の時期等は来園者が多いため、片側通行の案内、宴会の自粛看板等の来園者の安全を確保する取組が行われた。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、公園利用者数は対前年度比で118.9%であったが、目標達成率は79.3%であり、C評価となった。今後はコロナ禍での安全と両立した公園利用について、更なる工夫が望まれる。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が99.2%と高い評価を得たため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が104.07%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 利用者からの要望に対して、速やかに現地確認を行うなど適切な対応が行われている。</p> <p>◆事故・不祥事等 なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
B	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
○サクラを始めとする樹木管理 ・花木の良好な開花のため、サクラや梅への施肥を実施する等適正な樹木管理に努める。	日常管理に加えて毎月実施する集中作業にて、枯損木処理、テング巢病駆除、ヒコバエ剪定等を実施した。	
○安全性・快適性の確保 ・展望台、四阿、園路等の巡視や清掃および点検を適切におこなう。	日常作業に加えて大雨等の荒天時においても、早出園内パトロール等を実施し、更なる安全性を確保した。	
○事故・犯罪防止、安全対策の取組 ・サクラ開花時期における安全対策の実施	3月末の桜の見頃はコロナ禍であっても多くの来園者が訪れたが、注意看板やキーブライトの表示により安全を確保出来た。また、従業員のコロナウイルス感染防止対策として、密を避けた作業エリア分散等を実施した。	
○各ボランティア団体等と連携・協力の実施	町内婦人会等のボランティア団体と協働して、継続的に花植え、除草等を実施した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	40,268	38,426	45,670
対前年度比		95.4%	118.9%
目標値	56,550	57,600	57,600
目標達成率	71.2%	66.7%	79.3%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 目視による計数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<p>【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴うイベントの中止や外出自粛により、利用者数が目標値を下回った。 緊急事態宣言期間中について、4月は利用者数が前年度に比べて2割程度減少したが、5月は前年度とほぼ同じ利用者数となった。また、緊急事態宣言期間以外は、3密を避けられる環境であることから、利用増に繋がり、年間の利用者は前年度と比べて2割程度利用者数が増加した。</p> <p>②令和2年度の対応状況 コロナ禍の中、オープンスペースである公園利用のニーズは高く、桜の時期等は来園者が多かった。来園者に対しては片側通行の案内、宴会の自粛看板設置等の取組を行い、管理運営を行った。また、公園の散策を楽しむ際には、咳エチケット、マスクの着用などのお願いの掲示をするとともに、管理事務所及びトイレに消毒液を設置した。</p>
--

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント1回の計7回調査の結果を使用する。 指定管理者による適切な公園管理により、利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 _____ 利用者に直接配布 回収数/配布数 $\frac{120}{126} = 95.2\%$

配布(サンプル)対象 _____ 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	87	32	0	0	1	120	
回答率	72.5%	26.7%	0.0%	0.0%	0.8%		
前年度の回答数	60	16	1	0	0	77	
前年度回答率	77.9%	20.8%	1.3%				
回答率の対前年度比	93.0%	128.3%	0%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 —
②令和2年度の対応状況 —

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	16,100	0	111	自販機111	16,211	16,211	0	
	決算	16,100	0	0	自販機0	16,100	15,848	252	101.59%
前年度	当初予算	16,398	0	114	自販機114	16,512	16,512	0	
	決算	16,398	0	0	自販機0	16,398	16,229	169	101.04%
令和2年度	当初予算	17,282	0	114	自販機114	17,396	17,396	0	
	決算	17,282	0	48	自販機48	17,330	16,653	677	104.07%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

<p>【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>②令和2年度の対応状況</p> <p style="text-align: center;">—</p>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。